



岩井よしえ Tel/Fax955-7340 深良 2706-2
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岩井よしえ
yosie-820aug@purple.plala.or.jp



岡本かずえ Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岡本かずえ
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

弱いひと 困っているひとの味方—直線の共産党

困ったことは岡本かずえ、岩井よしえのなんでも相談へ

①給食費値上げ ②自治会の古紙回収 ③敬老祝商品券 ④政治浄化・国会議員団の活動

子育て世代応援はどこに？ 市は小中学校学校給食費を値上げしようとしています



学校給食費は裾野市において概ね3年後を改定時期としています。今回物価変動など給食用物資の上昇、消費税が5%から8%に増税されたことにより現行の給食費では学校給食に求められる給食提供が困難になるということで、12月の学校給食運営委員会、1月の教育委員会において平成27年4月から小学校300円(現在4,100円が4,400円に)中学校500円(現在4,800円が5,300円に)の値上げが承認されました。

裾野市では子育て世代応援として学校

給食費に平成18年～23年まで1,200円の補助がされていました。

市では平成21年から給食費を据え置いてきていると説明がされましたが、平成24年から補助がなくなった時点で保護者にとっては1,200円が値上がりをしたことになり、今回の値上げは大変なことです。これから保護者の皆さんには納得していただけるよう説明していくということですが、平成29年に消費税が8%から10%に増税される予定であることから改定時期も2年後にも値上げがされることが予想されます。

これで近隣市町と同額程度になるということですが、長泉町は一般財源から賄材料費への補てんが1,800万円(平成24年)され、小学校3,940円、中学校4,700円で今年度の値上げはしないということです。

子育て世代応援の施策を数々重ね、出生率が長泉町と並んで県下で1番の裾野市から、応援施策が次々削られていくことは、定住人口を増やす市の方針とかけ離れているといわざるえません。

税金をどこに手厚く使うのか見直しが緊急に必要です。

裾野市は自治会の古紙回収を歓迎しないのか？

裾野市の共産党市議会議員団が、自治会での古紙回収を市議会で提案して実施に移されたのは 2013 年(平成 25 年)10 月からで、自治会では試行的に深良町震 1 区が始めました。その後深良地区で深良新田区・原区が始め、近いうちに南堀区も始める動きがあります。富岡地区では早くに今里区が行っていましたが、葛山の上条区・下城区も始めました。



自治会での古紙回収は、住民のみなさんに好評で、①月 2 回の資源ゴミ回収まで自宅に置くことなくいつでも出せる。②これまでスーパーや道路脇の古紙回収ステーションに持って行ったが身近なところで処理できるので便利。③特に段ボールはかさばるのですぐに処理できて良いとの声が出されています。

古紙は業者に売却され売却益は自治会に入りますので自治会運営の財源として歓迎です。今後も古紙回収に取り組む自治会が増えていくかもしれません。

裾野市は市民共同として資源リサイクルに取り組んでいます。自治会が古紙回収に取り組むことを良いことと思っていない動きがあります。

ゴミ減量推進協議会の会合の席で、自



治会の古紙回収を歓迎しない旨の発言や、古紙回収している自治会に回収でどのくらいの収入があるのか調査をしています。裾野市は、特に古紙やアルミ缶の売却収入は高いものがあり、業者に売却すれば裾野市の収入になりますから資源



ゴミとして回収はしたいところでしょう。しかし、古紙の回収やアルミ缶の回収を増やして市の収入を増やそうなどと考えているとしたら行政業務として可笑しなことです。市が市民の税金を使って諸事務事業に取り組むのは、快適で住みやすいまちをつくるために必要であり、そしてそこに税金を充当していくのが本来業務です。

市民が協力してできることは、税金を使うことなく市民自治の中で取り組んで行くことはよいことだと思います。

敬老祝いの商品券とヘルシーパーク入浴券は共通券として両方で使えるようにして欲しい」 実現を！



敬老祝いの商品券(500 円券 2 枚)を使えるのは今月の 1 月 31 日までです。期限が迫る中で、身近な地域での個人商店が減少して、普段買い物をしていない商店で商品券を使うことにためらう方もいます。日本共産党市議会議員団は以前から、市議会での質問や予算要求で商品券がヘルシーパーク入浴券として使える、入浴券が商品券として使える共通券として活用できるようにすべきと主張してきましたが実現に至っていません。あきらめることなく実現に努めてまいります。

**議案提案権を獲得した
日本共産党国会議員団
共産党に入れてよかった』
伸ばしただけのことはある』
期待にこたえる活動に
全力でとりくみます。**

※議案提案権とは＝議会で法案を提出するには一定の人数以上の賛成者が必要です。国会では、提案者以外に「議員が発議する場合には衆議院においては議員 20 人以上、参議院においては 10 人以上の賛成を要する」となっています。今回の総選挙で共産党は 21 人が当選しましたが、この最後の 1 人が居ないと提案者以外の賛成者は 19 人になってしまうため議案提案できません。本当に貴重な最後の 1 議席でした。



2013 年の参院選で躍進した共産党は議員が 11 人となり、議案提案権を獲得。

昨年暮れの衆議院選挙では 8 議席から 21 議席になり、参院に続き衆院でも議案提案権を獲得しました。

共産党国会議員団はこの間、参院で、「ブラック企業規制法案」「秘密保護法廃止法案」を提出。ブラック企業規制法案提出後、厚労省が 400 を超える事業所に正勧告を行いました。

今後は、昨年の総選挙で示された国民の期待を受けて、衆参両院で議案提案権を行使し、政治を動かす活動をさらに進めます。26日に開会する通常国会では、政治を劣化させる根源となっている政党助成金をなくすための、「政党助成金廃止法案」を提出する予定です。

議案提案権は、地方議会、この裾野市議会などですが、「議案を提出するに当たっては、議員の定数の12分の1以上の者の賛成がなければならない」（地方自治法112条）と規定されています。予算の提案権は首長に限られています。

地方議会の場合は、「提案者以外に」という条件のある国会と違って、提案者も賛成者の資格があります。

裾野市議会では会派・日本共産党だけが議案提案権を行使してきています。

政党助成金と小選挙区制 政治を劣化・墮落させる 二つの元凶を正そう

「政治改革」の名で小選挙区制と政党助成金が導入・施行されて20年。1995年の導入以来、20年間で合計6,311億円の助成金がばらまかれました。この間、政党助成金目当ての政党の離合集散や党名変更によって新たに誕生した政党は、60近くもあり、これまで政党助成金を受け取った政党は43党。そのうち消滅した政党はなんと33党。理念も政策もなく、助成金がほしい一念だけで離合集散をくりかえす。これはあまりにも恥ずかしく浅ましい政治です。

国民みなさんの税金ぶんどりをやめさ

せましょう。「身を切る」というなら政党助成金を切りましょう。

政党助成金廃止の署名始めました。

小選挙区制＝死票だらけで独裁政治へ進む制度を続けていいのでしょうか？

小選挙区制の害悪は、制度施行20年、深刻な形で明らかになっています。小選挙区制は、①大政党有利に民意をゆがめ、「独裁政治」に道を開く危険きわまりない制度です。②「1票の格差」を是正することなど事実上不可能な制度です。③「1人区で勝つ」ことを最優先に、政策も理念も投げ捨てた野合、離合集散など、政党の劣化と墮落をもたらした制度です。

日本共産党は、この20年の教訓を汲み上げ、日本の政治が、この悪しき民主主義破壊の制度から一刻も早く抜け出すように、国民のみなさまと力を合わせがんばります。



編集後記 大企業内部留保 285兆円。毎日1億円使っても無くなるまで7,800年。さかのぼれば縄文時代。自・公がまとめた与党税制改正大綱の法人減税1兆2,000億円。1万円札積み上げて高さ1万2,000m、富士山の3倍以上。